

相談者様投稿欄

作詞をされている利用者さんからの投稿、今回は4号連続の最終掲載になります。

夜一人でいる時に寂しさを感じて きっとそれは
自分だけではない。と思った時に出来た詩です。

光のように

ひび割れたガラス玉を見つめるのは
もう一人の自分が そこにいるから

どれだけの時間を費やせば

そのひび割れた心を治せるのか

本当は 焦る必要はない・・・

時間がいつか 解決してくれるから・・・

あなたもそんなガラス玉を
手に持っているの？

そっと優しい布で包んであげて

ひび割れたところも 包んであげることで
いたわることができる

悲しみの水 澄んだ優しい水

そそいであげれば きっと傷は癒えるから

そうそれは 綺麗なガラス玉



※編集後記※ 今年は例年のない猛暑続きで毎日のニュースの中に「熱中症」の文字がない日がありません。最高気温が30度を超えると熱中症による死者が出て、30度から1度上がるごとに死亡率も高くなるそうです。そこで、熱中症対策のおさらいをしたいと思います。①直射日光の下で長時間にわたる活動はさける。②こまめに水分補給する。(喉が渇いてからではダメ)③吸湿性や通気性の良い服を着る。④扇風機やエアコンを使った温度調整をする。 まだまだ暑い日が続きます。万全の対策でこの夏を乗り切りましょう！！

○鳥栖市・みやき町・基山町・上峰町にお住まいの、障がいがある方・家族・支援者からの相談をお受けします。障がいの種別、手帳の有無は問いません。

<相談窓口開設時間>

9:00～18:00(月～金)

9:00～17:00(土)

・上記時間帯以外の休日についても事前にご連絡下さい。

※8月より祝祭日の窓口業務は行わないことになりましたが、事前にご予約いただければご相談をお受けすることは可能です。お間違えないようお願いいたします。

特定非営利活動法人

総合相談支援センターキャッチ

住所:佐賀県鳥栖市宿町 1041-3

電話:0942-87-8956 FAX:0942-85-9003

Mail:so-sodan@tosumiyaki-sodan.or.jp



虐待を見た、虐待を受けたと思っている方はご一報ください。

鳥栖・三養基地区 障がい者虐待防止センター

TEL.0942-85-8900



キャッチ通信

第13号

平成25年8月発行

総合相談支援センター相談支援員 櫻井 良子

今年は異常気象で集中豪雨や猛暑などの記録続きの夏でした。まだまだ残暑も厳しく秋の涼しい風が待ち遠しく感じられます。

昨年8月から「キャッチ」での仕事を始め週4日の非常勤勤務ではありますが、先月で丸1年が経ちました。社会福祉について解らないことだらけの私でしたが、日々の業務の中でいろいろなことを学ぶ機会を得ることができました。今回は障がい者福祉について自分なりに思ったことなどを書いてみたいと思います。

日本国内の男性の4人に1人、女性の5人に1人が65歳以上の高齢者といわれる高齢社会になり、私の周りでも介護保険制度を利用しデイケアに通っている近所のお年寄りをよく見かけます。うちの母も高齢者医療制度を利用し1割負担で週に4日リハビリに通っています。そんな風に高齢者福祉に関しては身近なものとして認識していましたが、障がい者福祉については自分の周りにサービスを利用している方の話は聞こえてきませんし、障がいがある方との日常の出会いも殆どありませんでした。日々の業務を通して相談者の方々からの悩みや不安などの相談をお受けし、いろいろな困り感を持ちながら誰にも相談が出来ずに暮らしている方も多くいらっしゃることを知りました。

私たちが住んでいる東部圏域に既に障害者手帳をお持ちの方が人口全体の7%いらっしゃいます。手帳をお持ちでない方の中にも日々の生活に不自由さや不安などを持ち悩んでいる方が多くいらっしゃると思います。平成18年10月に障害者自立支援法が施行され、今年は難病で苦しんでいる方々も対象に入れた障害者総合支援法が施行されました。

法律が整備され、障がいがある方々への支援の強化が図られている中で、もっと地域社会にノーマライゼーションの精神を浸透させ、障がいがある方もない方も地域において一緒に活動、活躍できる場を増やさないといけないと感じています。そして、障がいのある方もない方も地域の中で自由に意見を出し合い相談し合って楽しく暮らせる社会を作るためのお手伝いをキャッチを通じてできることを嬉しく思っています。

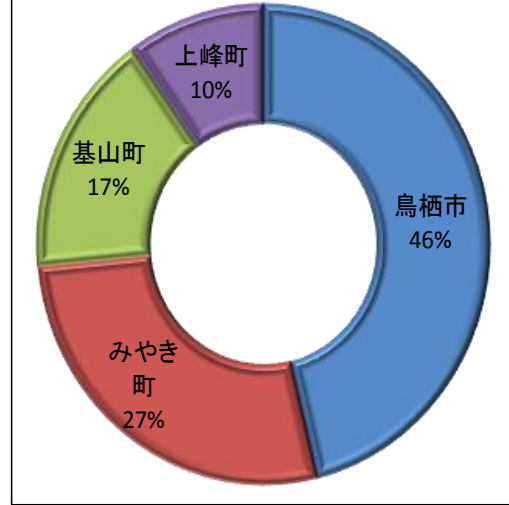
先日、何気なく手に取った雑誌に聖路加国際病院理事長の日野原重明さんの記事が載っていました。「医師は患者を治療することによって、医師として必要な知識が与えられ、患者に直接タッチすることにより技術が向上する。これら知識や技術が与えられると同時に給料まで頂く。更に患者から感謝される」と述べられ、患者から学び感謝する心を持つようにと書かれていました。私たち相談支援員も相談者の方々から話を聴かせて頂き、相談者の悩みや不安に寄り添いその悩みを解消するために行政や福祉関連の事業所、医師やソーシャルワーカー、その他関係機関などとのネットワークを活用しながら相談業務を行っています。その相談の機会こそが、相談支援員として必要な知識を与えられる機会だと思っています。相談をお受けすることで相談支援員としての知識や技術が与えられ、そしてその悩みを解消して相談者も支援者も笑顔になり喜びを分かち合うことができるのです。日野原先生の言われる、学ばせて頂いているという謙虚な気持ちを忘れずにこれからも相談業務に携わっていきたいと思っています。

平成25年4月～6月の相談件数

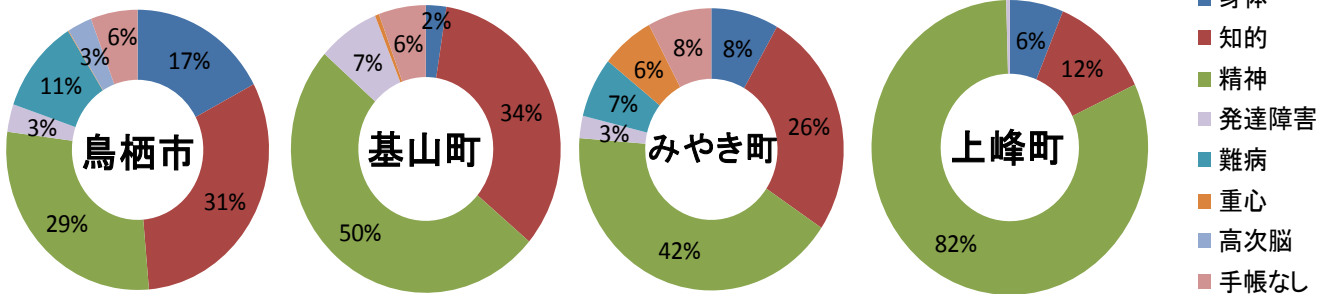
1. 各市・町の相談等対応件数 (単位:件)

	鳥栖市	みやき町	基山町	上峰町
身体	194	55	10	15
知的	353	174	137	28
精神	320	279	205	195
発達障害	36	17	30	1
難病	122	46	0	0
重心	1	43	2	0
高次脳	34	0	0	0
手帳なし	65	52	23	0
合計	1,125	666	407	239

2. 総相談数の市・町別比率




3. 各市・町の相談者の障がい別比率



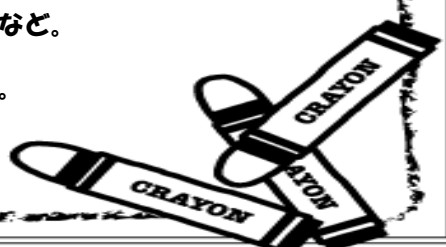
4. 3カ月間にあった相談の中で、特徴的な事例

- ア 圏域外から転入してくる児童に対して、ヘルパー導入や移動支援利用について支援しました。
- イ 生活困窮者に対して救護施設入所に向けた支援をしました。
- ウ アパートでの自活した生活を望む人に対して、物件探し契約手続きなど支援しました。
- エ 家庭内での問題行動がある人に対して、家族を含め不安解消のための支援をしました。



- ・どんな福祉サービスがあるの?どんな手続きが必要なの?
- ・どのようなサービス事業所があるの?
- ・わからないことを誰かに聞いてもらいたい。
- ・障がい年金って何?どうやったらもらえるの?
- ・一人暮らしなんだけど・・・困った時は誰に相談すればいい?
- ・障がいがある家族にどう関わったらいいの? など。

☆ 気になることが出てきた時が相談への第一歩です。
一人で悩む前に・・・
ぜひ、当センターに足を運んでみてください。☆



事業所紹介

未来夢

株式会社 クオリティサービス「未来夢」

未来夢に託したこと。

「できることはやっていただく・できないこともチャレンジしていただくでも決して無理強いはしない」をスタンスに、皆で未来に夢を抱けるようにこの作業所を「未来夢」と命名しました。

未来夢のメインの仕事は、運送業界大手のヤマト運輸のメール宅配便です。ヤマト運輸では「メールメイト」と呼ばれています。

お中元・お歳暮の繁忙期には、メール便だけでなく、宅配便もやっちゃいます。外での仕事だけに暑かったり寒かったり雨が降ったり雪が降ったりで大変ですが、仕事をやり終えた時の充実感は格別です。

もちろん、室内作業も用意しています。

法人名	株式会社クオリティサービス
施設名	就労継続支援A型事業所 未来夢
所在地	〒841-0083 佐賀県鳥栖市古賀町 328-1
TEL	0942-85-8426 FAX 0942-85-8427
URL	: http://qscom.net/
E-MAIL	: bwqry146@ybb.ne.jp



児童ルーム スマイル

児童発達支援
放課後等ディサービス



対象：未就学のお子様から小学生まで
ご利用をお考えの方はまずご連絡ください。

法人名：特定非営利活動法人 笑顔いっぱい

施設名：児童ルーム スマイル

所在地：〒841-0054

鳥栖市蔵上町 668-7

Tel(0942)83-2622

蔵上ひまわり保育園につながります。

平成24年2月に法人を立ち上げ、同年4月に児童発達支援として児童ルームスマイルを開園しました。

そして、保護者の方のご要望で、平成25年1月に放課後等ディサービスを開園しました。

現在は、児童発達支援6～9名、放課後等ディサービス3～5名、一日の定員を10名までとし、日々子どもたちの支援に励んでいます。

これからも、子どもたちと共に、成長していきたいらと、思っています。